

れいわ ねんど
令和6年度

2月 食育だより



あい ちけんりつみ ょしとくべしえんがっこう
愛知県立三好特別支援学校

【今月の目標】

しょくじ かんが しょくじ 食事のマナーを考えて食事をしよう



1月10日(金)に高等部、17日(金)に小・中学部の給食感謝の
集いが行われました。

保健委員会の生徒で企画し、司会進行をしました。今年度の学校給食週間
のテーマ「アスリートの強さのひみつ～強いからだのつくりかた～」にちな
んだクイズを行い、児童生徒一人一人が全問正解を目指して取り組むこと
ができました。

また、代表生徒が栄養教諭の都築先生や調理員の方々に日々の感謝を伝
えたり、各学級で作成したプレゼントを渡したりすることができました。

1月14～17日の学校給食週間では、放送委員会の生徒がその日の
給食に関する豆知識や、スポーツ選手の食に関する情報を発信するなど、
楽しい給食の時間を過ごすことができました。

これからも食事に携わった人や食材への感謝の気持ちを大切にしてい
きたいです。



2月といえば、節分に豆まきをする風習があります。

季節の変わり目は体調を崩しやすくなる人も多いと思いますが、昔の人は、これを
「鬼(邪氣)」の仕業と考えていました。災いや疫病をもたらす鬼を追い払い、幸
福を招くための風習が「鬼は外、福は内」の掛け声で行われる豆まきです。豆まき
には大豆のほか、落花生を使う地域もあります。

大豆の“豆”知識

煮豆など料理に使われる
ほか、さまざまな食品に加
工され、日本人の食卓に欠
かせない食べ物です。

大豆は、からだをつくるタンパク質を多く含むことから「畑のお肉」と
呼ばれます。

